



# 『しまの宝』

第5号 R2.6.2発行

文責：校長 日高 洋子

## しま留学の子ども達 が来島しました！

新型コロナウイルス感染対応で4月の来島が延期されていた子ども達が、今月やっと久賀島に来ることが決まりました。長い間、仲間を待っていた子ども達も期待が大きく膨らみます。

職員も、やっと・・・という思いです。県外からの来島自粛のため、2か月以上自宅待機になっていましたが、6月2日現在で5名の留学生在が来島しています。しばらくは学校と、しま親宅との往来だけの外出とし、それ以外は控えてもらうことになっています。なお、手洗い、マスクの着用、足もとの消毒などを徹底します。

長い間、来られなかった子ども達に、大いに歓迎の気持ちを表したいと思います。これから、さらに子ども達の元気な声が島に響きます。地域の皆様には大変ご心配をおかけしました。今後とも、よろしく願いいたします。

## 本年度から 始まりました 【Catch E】(キャッチイー)

英語学習の一環で「話す力」を身につけさせるために、5月から、英語集会「Catch E」が始まりました。

全校児童生徒が一斉に集まって、英語で会話をしていきます。英語に慣れ親しみ、話すことが好きになる取り組みです。中学生が小学生に教えたり、先生方に話したりすることで、小学生は使える単語が増えていくことをねらいとしています。

月に2回ほど開催予定で、既に5月は2回実施しました。いつか、観光に来た外国の方を英語で自由にガイドができれば素晴らしいですね。

5月の1回目ではALTのダン先生が優樹さんと皆さんのお手本になって、小学生にも分かりやすく、やり方を教えてくれました。



↑「英語で消しゴムってなんていいますか？」を英語で聞きます。小林先生、さすがです。ちゃんと答えてくれました。

## 藤原邸で久賀を学習

小学生が校外学習で藤原邸に行ってきました。久賀の歴史を語るには欠かせない文化財です。しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染対応で、邸内の見学はできませんでしたので、周囲の案内板で学習しました。

本当は中を見学して、いろいろなことを感じさせたかったのですが、またの機会に学習させたいと思います。



↑  
尾崎先生から説明を受けて

→  
自分たちでも確認しました。



# 季節の果物を いただきました



毎年、この季節になると旧久賀小学校職員の太田美代先生から枇杷が届きます。今年も立派な枇杷が届きましたので、みんなで給食時のデザートとして、おいしくいただきました。

太田先生曰く「久賀の方々に大変お世話になりましたので・・・」とのこと。地域の皆様のおかげで、こうして毎年おいしい季節の果物をいただいています。このような体験は、子ども達にとっては「感謝」の気持ちを持つことができる貴重な出来事です。あらためて、「つながり」に感謝です。

太田先生には、中学生の優樹さんが代表して、お礼の手紙を書いて、4月からの学校の様子の写真を同封し久賀小中学校の近況を伝えました。



↑<sup>るか</sup>琉嘉さんいつもに増して嬉しい給食になりました。  
「皮、どうやってむくの？」



↑<sup>ゆうと</sup>侑都さん、昨年に引き続きやったあ！  
「皮のおき方わかるよ。こうやって・・・。」



↑<sup>ゆうき</sup>優樹さんは上手に皮をむきます！おいしい！



↑<sup>うな</sup>潤奈さんはしっかりデザートとして・・・。

## 帰りの会も元気よく

久賀小中学校の学習の規則「5つのこっだけは」をご存じでしょうか。本校はあいさつなどの授業の規則をしっかり守って授業にのぞむことを指導しています。それは授業だけでなく、帰りの会などにも言えることです。<sup>すみか</sup>澄花さんは、2年生と合同の帰りの会で、元気よく手を挙げます。

田中先生も一緒に、「できた人」「はい！」元気な声が響きます。

